



心にひびくマンガの名言

「力をかりたら次は相手が困っている時、お前が力をかけてやればいい。世界はそうやってまわってるんだ。」『3月のライオン』第3巻林田高志の名言
 自立した人とはどんな状態の人のことでしょうか。何事も自分の力で解決していける人、誰にも頼らず一人で生きていける人、そう考えた人も正解だと思います。しかし、それだけではありません。『3月のライオン』の主人公、17歳の桐山零もその一人です。15歳でプロ棋士となり、大人と変わらぬ収入を得て、誰にも迷惑をかけずに生きようと一人で暮らしています。しかし、桐山が良くないのは、同世代の同級生とうまくなじむことができないところ。固く心を閉ざして、将棋のことだけを考えて生きてきたからです。

かたくなだった桐山が少しずつ変化しているのに気づいた担任の林田高志先生は、こんなアドバイスをします。「力をかりたら次は相手が困っている時力をかけてやればいい。世界ってそうやってまわってるんだ。」頼みごとをするのは、弱みを見せるようで恥ずかしい…。あなたもまた、そんなふうを考えているかもしれません。でも、弱さを見せない人なんて、自分に心を開いてくれないようで、付き合いにくくありませんか。

人間の関係は持ちつ持たれつです。一人ではどうにもならないことがあったら、誰かに頼りましょう。あなたが自分の弱さを見せて人に頼ることで、その人もあなたに頼りやすくなります。人に「助けてほしい」と素直に言えること。そして困っている誰かをためらいなく救おうと思えること。この二つをできる人は、自立した人といえるのです。

みんなの感想

1年生

- 私もこれから困ったら、素直に助けてほしいと言ったり、困っている人がいたら助けられる「自立した人」になりたいと思いました。
- 私は誰にも頼らずに自分の力だけで生きることを「自立」だと思っていました。ですが、誰かに頼ることも一つの手だということが分かり、助け合うことも「自立」の一つなのかなと思いました。
- この話を聞いて僕は、一人で困っているとき抱え込まず、他の人を頼り、自分もそんな人がいたら相談できる人になりたいです。
- 私は何でも自分一人でやりたいというタイプで、誰にも頼らなかつた結果、失敗してしまったことが何回もあります。一人でやるのが自立している人になる近道だと思っていたからです。でも、助けを求めたり、弱みを見せることで、本当に「自立した人」になれるのだと思いました。
- 自分にはできたり、できなかつたりすることも、人と協力することによって、できなかつたこともできるようになると思う。これっていいことだなあと思いました。
- 弱さを見せることは恥ずかしことだと最初は思っていたけど、これを見ると自分の弱さを見せることは自分の心開くことなのかと初めて気がついた。自分にも弱点がたくさんあるけど、誰かに素直に言えるようになりたい。

2年生

- 私は頼まれることはなるべく断らずしているけど、私から誰かに頼ることはないのので、この資料を読んで人に頼ることも自分が生きていく上で必要だと思いました。
- 私は誰かを救おうと思えているかわかりません。それなのに、人に頼ってばかりかもしれない。でも、私は自分でもわかるようにプライドが高いので頼ることができていないかもしれません。今日の朝道徳を聞いて、もう少し自分を見つめ直してみようと思います。
- いつも「弱みを見せないように」と分からないところを聞けずに後悔することが多いので、心を開いて、積極的に聞いていきたいと思った。
- 「自立した人」になろうとしても周りの人たちから見ると、付き合いが悪い人になってしまうかもしれないので、周りの人とも協力する。
- 困ったときはみんな助け合うのが一番良いと思う。人と付き合っていくなかで、人に頼ることは大切だと思いました。
- 自分が力をかりて、次に相手が困っているときは自分が力を貸せばいい。今まではそんな勇気も出ず、助けることはできなかつたけど、いざとなったら自分も相手を助ける勇気が必要だなと思った。
- 自分にとって“自立”の正解があまり分からなかつたけど、自分一人ですべてこなすのではなくて、助けて欲しいときは声に出して助けを求めるのも自立というのなら、私は自立した人になりたい。

3年生

- 自分だけでは解決できないことがあったら、迷わず誰かに助けを求めようと思った。そして、次は頼ってくれるような人になりたいと思った。
- 人を頼ることは恥ずかしいことではない。むしろ頼る、頼られることは生きていくことなかで大切なことだなと思った。
- この資料を読んで私は“人に「助けてほしい」と素直に言うこと”、“困っている誰かをためらいなく救おうと思えること”を心がけて生活していこうと考えました。「自立した人」というのは、このような人のことをいうということに気づかされました。
- 困ったとき一人で悩まず、進んで友達や近くの人に相談しようと思いました。この名言の通り、助けられた人は次の人を助けていったら良い世の中になるなと思いました。
- 自立するというのは、何もかも自分一人で抱え込むことではないと改めて思いました。困ったときにはお互い助け合うことがすごく大切だし、自分が頼ることで相手も自分に頼りやすくなると分かりました。
- 私は人に「助けてほしい」と言いたいときや、困っている誰かを救おうとするとき、ためらってしまいます。でもこの話を読んで、相手に素直に言うことで、相手も自分に心を開いてくれると学んだので、これからは自分の素直な気持ちを表現していきたいです。

きりとり

この通信をご覧になったの感想などを気軽にお書き下さい。返信欄は切り取ってお子様を通じて担任まで提出して下さい。ご協力お願いいたします。